

完成予想図

水産加工総合管理センター

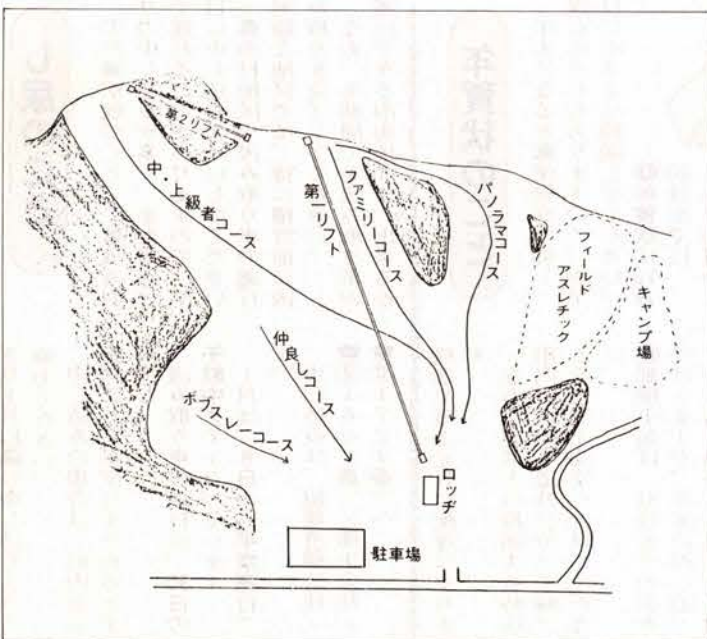
原料確保や 新製品開発を促進

〈2月下旬完成〉

さる昭和57年4月に国の水産物流通加工拠点総合整備事業の実施地域の指定を受けた留萌市では、水産物の総合管理センターの建設事業を進めています。当市の水産加工工業は昭和40年代以降、地場産業として発展を続けてきましたが、200カイリ問題が起きた昭和52年からは、その影響を直接受け水産加工場の数も当時の半数になっています。しかし、現在も特産品の「かずのこ」をはじめ「みがきにしん」等を主体とした加工製品の生産額

は、年間約400億にのぼっています。この額は、市の第1・2次産業総生産額の約7割を占めており、基幹産業として地域経済に大きく貢献しています。この様な状況とともに市では長年、水産加工工業界をはじめ関係方面より強く要望されてきました試験研究施設の整備について、「水産加工総合管理センター」によって実現することになったものです。このセンターは、水産加工団地（東雲町）の中核施設として新製品の開発普及、商品管理、加工排水の分析による環境の保全、研修・実習による人材の養成等に大きく役立つと期待されています。……

同事業は、総事業費3億7000万円で3カ年計画で進められ、今年度は管理センターの建設、59年度には同所に冷凍・冷蔵庫施設が配置されます。管理センターの規模は、鉄筋コンクリート2階建て面積は1階318平方メートル、2階207平方メートル、延525平方メートルです。設備は管理室をはじめ、健康管理室、技術相談室、実習室、研修室、図書資料室、試験分析室等が配置され、とくに試験分析室には最新鋭の機械を導入しセンターの中枢となります。完成は、2月下旬の予定です。



《神居岩スキー場》 600メートルの新しいコース 初心者から上級者まで

昨年12月にオープンした「神居岩スキー場」が、今年、全面改修して初心者から上級者まで楽しめるコースを新設しました。

今回は新しくリフト北側に、最大斜度40度（平均10度）の全長600メートルのコースを作り、上・中級者の方に利用していただけるようにしました。

さらに、全長850メートルのパノラマコース、650メートルのファミリーコース、リフト乗り場の南側に仲良しコース、ポップスレーコースを設置、初心者から幼児にも、家族づれで十分楽しんでもらえるスキー場になりました。

カラス追放作戦

ゴミ埋立場を 網で覆いました

正しいゴミの持ち出しに協力を



市では、カラス公害の解消のために浜中町のゴミ埋立地に防除網を設置しました。45年ごろから猟友会留萌部会に依頼して旧ゴミ捨場（沖見町6丁目）周辺を中必に、散弾銃で駆除

を実施していましたが、カラスの繁殖能力の方が上回りあまり効果がありませんでした。最近では、ゴミ埋立場に集まるカラスの不慣れな鳴き声に加え、礼受牧場の子牛が殺されるなどの被害

害が起き、対策がいらがれていたものです。今回の処置は、ゴミ埋立場に電柱を建て、高さ6メートルで埋立場を網で覆いカラスをえさ場から追放するのが目的です。入口部分は、ゴミ収集車が出入りできるように網で開閉できる仕組みになっています。この処置によって現在では、カ



父子家庭に 介護人を派遣

10月1日から実施されている父子家庭介護人派遣制度は、食事、洗濯、買いものなどのお手伝いをするものです。

対象になるのは、父親が一時的な傷病のため困っている乳幼児・児童のいる父子家庭です。

なお、介護人派遣の費用は無料ですが、一定の所得制限があります。

▶介護期間 同一の対象家庭について5日間程度を限度とします。

▶詳しくは 市役所福祉事務所福祉係（内線209・292）へお問い合わせください。

新しい福祉制度を実施

カラスの活動できる場もなくなり、飛来する数も減っています。しかし、浜中のゴミ埋立場からカラスを追放しても、えさ場を失ったカラスが各家庭から出されるゴミを狙う可能性もあります。カラスを完全に追放するためにも、ゴミは収集日以外には持ち出さず、包装もしっかりするなど、みなさんの協力をお願いします。

たばこは市内で買ひましよう

タバコ1箱につき29円50銭が市税収入になります。

昨年1年間で売られた数が600万箱で

留萌市のたばこ消費税は1億7,900万円になります。

